



南房総の風し

「まず使ってみる」から「より良く使う」へ

令和元年度頃から1人1台端末の整備が進められました。現在、全国的に端末を更新する時期になってきています。端末が整備されたときには「まず使ってみる」が合い言葉になっていましたが、そろそろ「より良く使う」という段階に進んできています。そのためにも、情報教育に関する全体計画や情報活用能力の体系表を整備するとともに、より効果的な端末活用の推進をお願いします。この号では、そのための参考資料を紹介します。

1. 情報教育全体計画と情報活用能力体系表

南房総教育事務所指導室のホームページに、「情報教育全体計画」の形式例と「情報活用能力体系表」の例を掲載しています。こちらを参考に、各学校の整備を進めてください。

※指導室のホームページ中の、「情報教育関係」という項目にあります。



2. 千葉県GIGAスクール通信

千葉県GIGAスクール通信では、GIGAスクール構想・ICT教育推進についての話題や取組を紹介しています。令和3年度から発行しており、県教委のホームページでバックナンバーを読むことができます。



3. 各市町村イチオシ!のICT活用方法

令和4・5年度に県内の市町村教育委員会からイチオシのICT活用方法を提供していただき、県教委のホームページ上に掲載しています。様々な取組が実施されていますので、是非参考にしてください。



4. ICT活用事例集

県教委のホームページでICT活用事例を50本公開しています。校内研修の資料としてもご活用ください。

※事例集内で、特定のソフトウェアを使用して事例を示しておりますが、千葉県として特定のソフトウェアを推奨しているものではありません。



5. ICTを活用した「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム

県教委では「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用し、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいます。令和5年度に県内教育事務所が作成したICTを活用した授業改善事例を県教委のホームページに掲載しています。



*パソコンで御覧の方は、QRコードをクリックするとウェブページを開くことができます。

令和6年度 南房総地域中学生・高校生との交流会

8月5日（月）に千葉県立京葉高等学校で行われた「南房総地域中学生・高校生との交流会」の様子を紹介いたします。この交流会は、中学生や高校生が日頃学校や日常生活等の中で考えている事柄や問題について、意見交換をし、今後の教育施策や学校運営に反映させるため、「中学生・高校生との交流会」を開催しています。今年度は中学生12名、高校生6名、大学生2名、県職員等が参加し、2つの分科会に分かれて2つのテーマについて話し合いを行いました。初めは緊張した様子が見受けられましたが、高校生の進行で活発な意見交換が行われ大変充実したものとなりました。

参加校

県立京葉高等学校 市原市立五井中学校 市原市立東海中学校 市原市立千種中学校 敬愛大学

分科会

テーマ①みんなが、行きたくなる学校って、どんな学校？

「どんな学校だったら、みんなが楽しく通えるか？」との投げかけから、自分たちの学校をよりよくする視点に立ったの意見が出されました。登校できない友だちのことを考え、すべての人が安心して学ぶことのできる学校について真剣に考える姿が見られました。その中で、一人ひとりの声をしっかり届けるため、相談窓口や本音を言える場所の必要性について意見が出されました。

テーマ②自分の住んでいる地域のために、何かをしたいと思いませんか？

自分たちの地域については、住んでいても地域を知らない、地域行事に参加していないことが課題として挙げられました。まずは、「地域について興味を示し、地域を知る」「自分たちの住む地域で何が足りないのか、しっかり理解する」「積極的に地域活動に参加する」など、まずはできることから考え、一歩踏み出すことで地域貢献に繋げていくことを確認し合っていました。

【分科会の様子】



【全体会の様子】



参加した中学生・高校生の感想

- 同世代の方や県教育委員会の方などのいろいろな意見を知ることができました。共感できる意見、また自分では思いつかなかった意見などを知ることができ、学びや発見がたくさんある交流会でした。学校のこれから、地域のこれからに生かすべき素敵な意見がたくさんありました。（中学生）
- 視点（中学生、高校生、大人）が違っていると意見や困っていることが違うことを改めて知りました。（高校生）
- 学校を皆が楽しいと思えるようになるには、いじめのない学校、安心して学校生活を送れる学校だと改めて思いました。（高校生）

